学校番号	３００２

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	農業 718　畜産(実教出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

動物飼育・栽培管理、畜産物加工における総合的な技術や動物の活用について、体験的に学ぶ実習科目です。動物飼育・栽培管理、畜産物加工における知識および技術について、その役割を理解し、繰り返し活用することによって確実に習得しましょう。実習のなかで自ら課題を発見し、その解決のために、工夫や改善を行い、仲間と協力するなどして、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などに関する総合的や知識と技術を体系的・系統的に理解し身に付ける。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などに関する総合的な技術の習熟と、各科目における知識の確認と顕彰を通して総合的な技術に関する課題を発見し、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観を持って、農業各分野の専門的な内容について、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身に付ける。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける自らの職業生活について考えながら、農業の総合的な見方・考え方、取組み態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	動物飼育に関する基礎的な実習 学校農業クラブ活動	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の知識と技術 体験学習などの実践的な農業クラブ活動	a:動物飼育、環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、総合的な技術を身に付ける b:動物飼育、環境等の基礎的な知識と技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する c:動物飼育、環境等に関する基礎的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	実技 定期レポート 課題	実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題
2学期	動物飼育に関する産業現場等における総合的な実習 学校農業クラブ活動	農芸祭における実践的な動物飼育・栽培管理、畜産物加工における総合的な知識と技術 体験学習などの実践的な農業クラブ活動	a:農業の産業現場等における総合的な知識と技術や、経営の管理の手法について理解するとともに、総合的な技術を身に付ける b:農業の産業現場等における総合的な知識と技術や、経営と管理の手法に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する c:農業の産業現場等における総合的な知識と技術や経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組むこと	実技 定期レポート 課題	実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題

3学期	畜産･栽培･食品製造に関する総合的な実習 学校農業クラブ活動	動物飼育･栽培管理、畜産物加工の専門的な知識と技術 体験学習などの実践的な農業クラブ活動	a:動物飼育等の各分野に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の処方について理解するとともに、総合的な技術を身に付ける b: 動物飼育等の各分野に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する c: 動物飼育等の各分野に関する基礎的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	筆記（小テスト） 実技 定期レポート 課題	筆記（小テスト） 実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度